

## 6.2. 口頭発表

本節には、気象研究所の職員が、平成 25 年度に筆頭者として行った講演・口頭発表などを掲載した。発表の情報は、タイトル、研究集会、発表年月、発表会場（都市名）の順で掲載した。

- 青木重樹
- ・ コーダ規格化法により推定した気象庁震度観測点のサイト増幅率を用いたリアルタイムサイト補正の試み, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ スペクトル比法により推定したサイト増幅率を用いたリアルタイム補正, 日本地震学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 10 月, 神奈川県横浜市
  - ・ スペクトル比法により推定した周波数依存するサイト増幅率を用いたリアルタイムサイト補正, 日本地震工学会・大会-2013, 2013 年 11 月, 東京都渋谷区
  - ・ スペクトル比法により推定した周波数依存するサイト増幅率を用いたリアルタイムサイト補正, 2013 年度京都大学防災研究所研究集会「リアルタイム地震動情報の高度化とその利活用」, 2013 年 11 月, 京都府宇治市
  - ・ Real-time prediction of ground motion using real-time correction of site amplification factors for EEW, 米国地球物理学連合秋季大会, 2013 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ
- 青木輝夫
- ・ Snow Impurity and Glacial Microbe effects on the abrupt warming in the Arctic (SIGMA) Project, The Norwegian Polar Institute Seminar, 2013 年 4 月, ノルウェー, トロムソ
  - ・ Run-length dependence of specific surface area and intrinsic permeability in seasonal snow, Snow Grain Size Workshop Measurements and Applications, 2013 年 4 月, フランス, グルノーブル
  - ・ Attempt of modeling water movement in snow cover using specific surface area, Snow Grain Size Workshop Measurements and Applications, 2013 年 4 月, フランス, グルノーブル
  - ・ 積雪の近赤外領域の反射率と含水率との関係, 日本雪氷学会 2013 年度北信越支部研究発表会, 2013 年 5 月, 新潟県新潟市
  - ・ グリーンランド SIGMA-A で観測された積雪粒径と不純物濃度がアルベドに与える効果, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ Global snow and ice cover observations using GCOM-C1/SGLI, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ MODIS データを用いたグリーンランド氷床表面温度と表面反射率の時間変化, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ グリーンランド氷床上 SIGMA-A で観測された光吸収性積雪不純物, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Effects of snow grain size and snow impurity concentrations on albedo variation at SIGMA-A on Greenland ice sheet, Davos Atmosphere and Cryosphere Assembly 2013, 2013 年 7 月, スイス, ダボス
  - ・ 近赤外域イメージセンサーによる積雪及び氷試料の光学測定, 雪氷研究大会, 2013 年 9 月, 北海道北見市
  - ・ グリーンランド氷床北西部 SIGMA-A サイトにおける過去 36 年間の年間質量収支の復元, 雪氷研究大会, 2013 年 9 月, 北海道北見市
  - ・ 体積含水率の変化に伴う積雪の近赤外領域の反射率の変化, 雪氷研究大会, 2013 年 9 月, 北海道北見市
  - ・ 雪氷面熱赤外域射出輝度の変動特性と表面雪質の関係, 雪氷研究大会, 2013 年 9 月, 北海道北見市
  - ・ 積雪の波長別双方向反射率と偏光度の測定, 雪氷研究大会, 2013 年 9 月, 北海道北見市
  - ・ 衛星データを用いたグリーンランド氷床表面反射率と表面輝度温度との比較研究, 雪氷研究大会, 2013 年 9 月, 北海道北見市
  - ・ 粉末氷から生成したガスハイドレートの比表面積測定, 雪氷研究大会, 2013 年 9 月, 北海道北見市

- ・ 積雪の圧縮粘性係数に対する大気圧の効果, 雪氷研究大会, 2013年9月, 北海道北見市
  - ・ The relationship between the near-infrared reflectance of snow and its water content, The International Snow Science Workshop (ISSW) 2013, 2013年10月, フランス, グルノーブル
  - ・ 衛星データ解析に基づいた近年の北極域積雪・曇天率分布の変動傾向, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ グリーンランド SIGMA-A, Bにおける2012年と2013年の気象条件の違い, グリーンランド氷床の質量変化と全球気候変動への影響に関する研究集会, 2013年11月, 北海道札幌市
  - ・ 北西グリーンランド SIGMA-A, Bサイトで2012-2013年に観測された気象要素の変化, 第4回極域科学シンポジウム, 2013年11月, 東京都立川市
  - ・ 衛星観測による環北極域の積雪・曇天率分布の解析と今後の計画, 第4回極域科学シンポジウム, 2013年11月, 東京都立川市
  - ・ BET吸着法による積雪比表面積(SSA)測定—粒子形状がSSA減少率に及ぼす影響—, 第4回極域科学シンポジウム, 2013年11月, 東京都立川市
  - ・ グリーンランド、カナック氷河のクリオコナイト粒の発達プロセスにおけるバクテリア相の変化, 第4回極域科学シンポジウム, 2013年11月, 東京都立川市
  - ・ Measurements on angular distribution of reflectance and degree of linear polarization of snow for the GCOM-C/SGLI snow product, AGU Fall Meeting 2013, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ Dependence of brightness temperatures in the thermal infrared wavelength region on the surface snow types, AGU Fall Meeting 2013, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ Seasonal and annual variations of satellite-derived snow parameters in Greenland, GCOM/EarthCARE/PMM Joint PI Workshop, 2014年1月, 東京都中央区
  - ・ SGLI Snow Product Algorithms, GCOM/EarthCARE/PMM Joint PI Workshop, 2014年1月, 東京都中央区
  - ・ 2011-2013年夏期グリーンランド氷床上における積雪不純物の表面濃縮過程, 第4回SIGMAワークショップ in 十日町, 2014年3月, 新潟県十日町
  - ・ MODISデータを用いたグリーンランド氷床裸氷域の面積変化, 第4回SIGMAワークショップ in 十日町, 2014年3月, 新潟県十日町
  - ・ グリーンランド SIGMA-Aにおけるアルベドと積雪物理量変化, GRENE 雪氷課題2013年度全体会合, 2014年3月, 東京都立川市
- 青梨和正
- ・ 大気のマイクロ波放射伝達特性とマイクロ波放射計データからの大気物理量推定, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 雲解像モデル用の Neighboring Ensemble に基づく変分法同化法(その1), 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Dual Scale Neighboring Ensemble Approach for the Cloud-Resolving Model Ensemble Variational Assimilation, Sixth Symposium on Data Assimilation, 2013年10月, アメリカ, メリーランド
  - ・ マイクロ波および赤外放射計データを併用した高分解能全球降水マップ(GSMaP\_MVK)のアルゴリズム, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリバルアルゴリズム開発(その1), 日本気象学会, 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 雲解像モデル用の Neighboring Ensemble に基づく変分法同化法(その2), 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ GPMに向けた全球降雨マップ(GSMaP)開発と今後の計画, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Displaced Ensemble variational assimilation to incorporate microwave imager brightness temperatures into a cloud-resolving model for Typhoon Conson, 31<sup>st</sup> AMS Hurricane Conference, 2014年3月, アメリカ, サンディエゴ
- 青柳曉典
- ・ Impact of the Urban Land Surface Parameterization on the Reproduction of Present

- Climate(2001-2006), 第6回日中韓合同気象学会大会, 2013年10月, 中国, 南京
- ・ NHRCM4km への都市キャノピースキーム導入実験—現在気候(2001年~2006年)再現実験の検証—, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - 青山道夫
    - ・ Southward transport of radiocesium discharged directly from Fukushima Dai-ichi nuclear power plants across the Kuroshio Extension Current, EGU General Assembly 2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
    - ・ Spatial and temporal variations and budget of radiocesium in the ocean following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, EGU General Assembly 2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
    - ・ Global nutrients data synthesis based on Reference Material of Nutrients of Seawater, EGU General Assembly 2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
    - ・ Introduction: geoscientific knowledgebase of Chernobyl and Fukushima, EGU General Assembly 2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
    - ・ Surface pathway of radioactive plume of TEPCO Fukushima NPP1 released 134Cs and 137Cs, EGU General Assembly 2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
    - ・ One-year, regional-scale simulation of radiocaesium-137 radioactivity in the ocean following the Fukushima Daiichi Nucle, the Japan Geoscience Union Meeting 2013, 2013年5月, 千葉県千葉市
    - ・ Surface pathway and subduction of Fukushima radioactivity in the North Pacific Ocean in March 2011 - June 2012, the Japan Geoscience Union Meeting 2013, 2013年5月, 千葉県千葉市
    - ・ Possible southward transport of the directly-discharged Fukushima-derived radiocesium across the Kuroshio Extension, the Japan Geoscience Union Meeting 2013, 2013年5月, 千葉県千葉市
    - ・ Total amount of fission products and neutron activated products released from TEPCO Fukushima NPP1 to marine environment, 第50回 アイソトープ・放射線 研究発表会, 2013年7月, 東京都文京区
    - ・ Southward transport of the Fukushima-derived radiocesium due to the subtropical mode water, goldschmidt 2013, 2013年9月, イタリア, フィレンツェ
    - ・ 東電福島第一原子力発電所事故で海洋に放出された核分裂生成物および中性子放射化生成物の挙動, 2013年度日本地球化学会年会, 2013年9月, 茨城県つくば市
    - ・ 2012年1-2月の北西部太平洋における福島第一原子力発電所由来放射性セシウムの分布第2報, 2013年度日本地球化学会年会, 2013年9月, 茨城県つくば市
    - ・ 福島沖の海底土中の137Csのシミュレーション, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
    - ・ 北太平洋での東電福島原発事故起源セシウム137の拡散, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
    - ・ 領域海洋拡散シミュレーションにおける福島沖の放射性物質の供給経路, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
    - ・ Oceanic and coastal dispersion of 134Cs and 137Cs released from the TEPCO Fukushima NPP1 accident: past, present and prediction, APSORC 13, 2013年9月, 石川県金沢市
    - ・ Developing high-quality data collection method of seawater density, 16th International Conference on the Properties of Water & Steam, 2013年9月, イギリス, ロンドン
  - 足立アホロ
    - ・ 2012年12月に東京都小金井市で行われた集中観測で観測された乱流事例, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
    - ・ レーダーシミュレーターによる偏波パラメータ計算結果のレーダー観測への応用(その4) 偏波パラメータを用いたC-band レーダーの自己校正手法の検討, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
    - ・ Radar calibration using polarimetric observations with rain attenuation correction, ISEC 2013, 2013年9月, アメリカ, コロラド州ブリッケンリッジ
    - ・ Detection of potentially hazardous convective clouds with a dual-polarized C-band

- radar, ISEC 2013, 2013年10月, 京都府宇治市
- ・ 次世代ウィンドプロファイラの研究開発, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 次世代ウィンドプロファイラにより捉えられた KH 波と晴天乱気流の対応, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Thorpe Analysis を用いた乱流の検出可能性, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 短波長偏波レーダーの多重散乱シミュレーション, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 足立光司
- ・ 電子顕微鏡とイメージングプレートを用いた原発事故由来放射性物質の分析, 第14回「環境放射能」研究会, 2013年2月, 茨城県つくば市
  - ・ Mixing states of soot and BC particles measured using transmission electron microscope (TEM) and single particle soot photometer (SP2), American Geophysical Union 2013 Fall Meeting, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ.
  - ・ Imaging of radioactive material and its host particle from the nuclear power plant accident in Japan by using imaging plate and electron microscopy, European Geosciences Union General Assembly 2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
  - ・ 電子顕微鏡を使ったすす粒子の混合状態 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
- 足立恭将
- ・ 火山噴火規模の環境変動への影響, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Development and recent improvements of MRI GCM, International Workshop on Climate System Modelling, 2014年3月, アメリカ, ホノルル
- 荒木健太郎
- ・ 高精度ビン法雲微物理モデルの開発, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 地上マイクロ波放射計のアングルスキャンによる降雨時の水蒸気場観測, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 夏季関東平野における都市型豪雨の解析的研究, 第71回神奈川予報士会, 2013年7月, 神奈川県横浜市
  - ・ 降雨時の地上マイクロ波放射計 Off-Zenith 観測値の検証, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Temporal Variation of Close-Proximity Soundings within a Tornadic Supercell Environment, 2014 Meeting on the Study of Advanced Data Assimilation and Cloud Resolving Ensemble Technique for Prediction of Local Heavy Rainfall, 2014年1月, 静岡県沼津市
- 安藤 忍
- ・ 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画の見直しについて, 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 気象庁における SAR データを活用した地震・火山活動の把握と大気補正手法について, SAR が切り拓く地球人間圏科学の新展開, 2013年8月, 京都府宇治市
  - ・ 伊豆大島に整備したボアホール型多成分ひずみ計の概要, 2013年度日本火山学会秋季大会, 2013年9月, 福島県猪苗代町
- 五十嵐康人
- ・ Atmospheric Radionuclides from the Fukushima Nuclear Accident – Two years observations in Tsukuba, Japan, European Geosciences Union General Assembly 2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
  - ・ Atmospheric-Terrestrial Interactions in Radioactive Pollution by the Fukushima Accident, the Japan Geoscience Union Meeting 2013, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 福島第一原発事故による大気環境影響: 気象研究所での研究成果, 環境放射能除染学会 第2回研究発表会, 2013年6月, 東京
  - ・ 大気環境における中長半減期核種の挙動, 日本エアロゾル学会第9回エアロゾルシンポジウム, 2013年6月, 埼玉県大宮市
  - ・ 宇宙線・雲仮説について考えること, 研究会「宇宙線による雲核生成機構の解明」, 2013年7月, 愛知県名古屋市

- ・ 福島第一原子力発電所事故による大気環境影響, トリチウム研究会, 2013年8月, 岐阜県多治見市
- ・ BCの電子顕微鏡観察, H25年度環境省環境研究総合推進費アドバイザーボード会合, 2013年8月, 東京都
- ・ 電子顕微鏡データの活用, 第30回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2013年8月, 京都府京都市
- ・ 福島第一原発事故による大気環境影響の研究, 第30回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2013年8月, 京都府京都市
- ・ 福島第一原発事故に関する大気観測と大気モデル研究, 2013年度日本地球化学会年会, 2013年9月, 茨城県つくば市
- ・ Research on Atmospheric Radionuclides from the Fukushima Nuclear Accident at the MRI, Japan, APSORC13, 2013年9月, 石川県金沢市
- ・ CTM Applications with Aerosol Modeling and Observations to Radioactive Contamination, 第6回日中韓合同気象学会, 2013年10月, 中国, 南京
- ・ Construction Trial of the Electron-Microscopic Aerosol Database, 第6回日中韓合同気象学会, 2013年10月, 中国, 南京
- ・ Characteristics of spherical Cs-bearing particles collected during the early stage of FDNPP accident, International Experts' Meeting on Radiation Protection after the Fukushima Daiichi Accident, 2014年2月, オーストリア, ウィーン
- 石井雅男
  - ・ Ocean acidification in the tropical Pacific from below, 第9回国際二酸化炭素会議, 2013年6月, 中国, 北京
  - ・ Trend of ocean acidification in the western Pacific tropical and subtropical zones over the past decades, Japan-Australia Marine Science Workshop, 2013年7月, 東京都
  - ・ Toward the future expansion of the ocean biogeochemistry observing network, Japan-Australia Marine Science Workshop, 2013年7月, 東京都
  - ・ Ocean acidification over the western North Pacific subtropical and tropical zones for the last decades, 2nd international workshop Global Ocean Acidification Observing Network, 2013年7月, イギリス, セントアンドルース
  - ・ 太平洋における大気・海洋間CO<sub>2</sub>交換, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 北太平洋西部亜熱帯域・熱帯域における海洋酸性化, 2013年度日本地球化学会第60回年会, 2013年9月, 茨城県つくば市
  - ・ Trend of ocean acidification in the western Pacific tropical and subtropical zones, 国際シンポジウム 海洋酸性化とサンゴ礁 -ラボからフィールド-, 2013年9月, 東京都
  - ・ Trend of ocean acidification in the western Pacific tropical and subtropical zones, 第6回日中韓IMBER国際シンポジウム, 2013年10月, 東京都
  - ・ PACIFICA carbon data secondary quality control, 北太平洋海洋科学機関2013年会, 2013年10月, カナダ, ナナイモ
  - ・ Carbonate system variables in surface water of the western North Pacific, Ocean Sciences Meeting 2014, 2014年2月, アメリカ, ホノルル
  - ・ 北太平洋西部亜熱帯域・熱帯域における海洋酸性化動向, 2014年度日本海洋学会春季大会, 2014年3月, 東京都
  - ・ GOOS生物地球化学パネルのEssential Ocean Variables選定, 2014年度日本海洋学会春季大会, 2014年3月, 東京都
- 石井正好
  - ・ Seasonal-to-decadal prediction studies under the SOUSEI program, International workshop on seasonal to decadal prediction, 2013年5月, フランス, トゥールーズ
  - ・ Possible remote influence on pacific decadal variability and predictability, International workshop on seasonal to decadal prediction, 2013年5月, フランス, トゥールーズ
  - ・ MIROCによるCMIP5近未来予測実験を用いた北西太平洋における熱帯低気圧活動の過去・将来予測, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 太平洋域の十年規模気候変動やその予測可能性に対する遠隔からの影響, 日本地球惑星

- 科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
- ・ MIROC アンサンブルデータ同化システムを用いた地表気圧・海面水温の同化実験, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 特異値分解解析を用いた GCM 季節予測のダウンスケーリング, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ A Japanese Project for Reconstruction of XBT Database, CLIVAR-GSOP Coordinated Quality-Control of Global Subsurface Ocean Climate Observations, 2013 年 6 月, オーストラリア, ホバート
  - ・ 近年の北極海海氷の減少とユーラシア大陸の寒冬について, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 近年の緩やかな地球温暖化傾向に対する十年スケール気候変動予測, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 平成 24 年 7 月九州北部豪雨に対する地球温暖化の寄与, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 外部フォーシングの 20 世紀気候変動再現実験への影響, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 石橋俊之
- ・ 複数の OSSE 手法による仮想観測システムの評価, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 複数の OSSE 手法による仮想観測システムの評価 (2) NR-OSSE, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 気象研究所における全球大気データ同化研究, 第 7 回気象庁数値モデル研究会・第 4 回データ同化ワークショップ, 2014 年 1 月 8 日, 東京都千代田区
- 石元裕史
- ・ MPS 法を用いた氷粒子の融解シミュレーション, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Numerical simulations of melting snowflakes by using Moving Particle Semi-implicit (MPS) method, Davos Atmosphere and Cryosphere Assembly 2013, 2013 年 7 月, スイス, ダボス
  - ・ 赤外サウンダ AIRS 輝度温度データの 1D-Var 解析から求まる対流圏中層の水蒸気場, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ マイクロ波リモートセンシングを目的とした、MPS 法による落下氷粒子の融解シミュレーション, ワークショップ『降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究(第 12 回)』 2013 年 11 月 28 日, 新潟県長岡市
  - ・ EarthCARE 衛星搭載雲レーダとライダーによる雲物理特性プロダクト, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Evaluation of the ice crystals scattering database for GCOM-C/SGLI, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 猪上華子
- ・ 庄内平野で観測された突風と気象じょう乱-渦および渦内部の地上風について II-, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 上清直隆
- ・ 主成分を利用した AIRS データによる気温・水蒸気プロファイルのリトリーバル予報誤差感度解析を利用した観測誤差調整, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 全球データ同化システムにおける AIRS データの観測誤差調整, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 上澤大作
- ・ 地上放射観測による水雲の物理量推定 ～スカイラジオメーターとマイクロ波放射計の比較～, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 上野 寛
- ・ 震度分布を用いた即時震源域推定, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ 気象庁震源の精度改善の試み (浅部 S 波速度構造, 重み関数の改良と観測点高度の導入), 日本地震学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 10 月, 神奈川県横浜市
  - ・ Rapid source parameter estimation of great earthquakes for tsunami warning, 米国地球物理学連合(AGU)第 46 回秋季大会, 2013 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ
- 碓氷典久
- ・ 日本沿岸海況監視予測システムによる 2011 年異常潮位の再現実験, 2013 年度日本海洋

学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市

- ・ Development of a high-resolution coastal forecasting system with a 4DVAR assimilation scheme, Sixth WMO Symposium on Data Assimilation, 2013年10月, アメリカ, メリーランド
  - ・ 大気海洋変動アンサンブル予測実験, 洋上漂流物のモニタリングと予測シミュレーションに関する国際ワークショップ, 2013年10月, 沖縄県国頭郡恩納村
  - ・ Development of a coastal monitoring and forecasting system around the Seto Inland Sea, Japan, GODAE OceanView Symposium 2013 "5 years of GODAE OceanView - current progress and future priorities", 2013年11月, アメリカ, メリーランド州バルチモア
  - ・ ピンポイント漁場探索のための海洋データ同化, RECCA 公開シンポジウム「気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化」, 2013年11月, 京都府京都市
  - ・ Sea-level variability at the southern coast of Japan due to Kuroshio path variations, Ocean Sciences Meeting 2014, 2014年2月26日, アメリカ, ホノルル
  - ・ 高解像度モデル・同化を用いた黒潮流路変動研究: 1か月から10年スケールの変動機構の解明に向けて, 2014年度日本海洋学会春季大会シンポジウム「渦と蛇行の解析手法の動向」, 2014年3月30日, 東京都品川区
- 内山明博
- ・ 地上で測定したエアロゾル光学特性, 150万都市福岡と越境物質—福岡大学における観測から—8研究機関合同研究会, 2013年6月, 福岡県福岡市
  - ・ Column water vapor retrieval from skyradiometer (POM-02) 940nm channel data, International SKYNET Workshop 2013, 2013年7月, 千葉県千葉市
  - ・ Continuous ground-based observation of aerosol optical properties in Tsukuba, Japan, International SKYNET Workshop 2013, 2013年7月, 千葉県千葉市
  - ・ 地上でのエアロゾル光学特性の連続観測, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 遠藤洋和
- ・ Future changes and uncertainties in Asian precipitation simulated by ensemble experiments with high-resolution MRI-AGCMs, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ JRA-55 大気モデルによる AMIP 実験, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Future changes in onset and retreat of the Asian summer rainy season simulated by multi-physics and multi-SST ensemble experiments with high-resolution MRI-AGCMs, AOGS 2013, 2013年6月, オーストラリア, ブリスベン
  - ・ CMIP3/CMIP5 気候モデルにおけるヤマセに関連する大規模大気循環の再現性 ~モデル解像度による違い~, 第8回ヤマセ研究会, 2013年8月, 宮城県古川市
  - ・ Slower warming trend in northeastern Japan summer for 1958 to 2012 seen in surface observational data and JRA-55, Fifth International Workshop on Monsoons, 2013年10月, 中国, マカオ
  - ・ 北東日本の夏季気温の長期変化とその要因, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ CMIP5 気候モデルにおけるヤマセの将来変化, 第9回ヤマセ研究会, 2014年3月, 岩手県盛岡市
- 大島 長
- ・ 春季東アジア域におけるブラックカーボンの上方輸送過程と輸送経路, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 春季東アジア域におけるブラックカーボンの上方輸送過程 (A-FORCE 航空機観測), 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ Vertical Transport of Black Carbon over East Asia during the A-FORCE Aircraft campaign, Goldschmidt 2013, 2013年8月, イタリア, フィレンツェ
  - ・ Development of a Parameterization of Black Carbon Aging for Use in General Circulation Models, 2013 International Aerosol Modeling Algorithms Conference, 2013年12月, アメリカ, デービス
- 大塚道子
- ・ NHM 予報値を利用した高頻度衛星観測による大気追跡風 (AMV) の特性調査, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区

- ・ Verification and Assimilation Experiment of MTSAT Rapid Scan Atmospheric Motion Vectors, The 6th China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology, 2013年10月, 中国, 南京
- ・ 高頻度衛星観測による大気追跡風 (AMV) の同化実験, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- ・ 高頻度衛星観測による大気追跡 風の同化実験, 「先端的データ同化と雲解像アンサンブル手法に関する研究」平成 25 年度第 1 回研究集会, 2014 年 1 月, 静岡県沼津市
- 岡本幸三
  - ・ 衛星搭載風ライダーの観測システムシュミレーション実験 (OSSE), 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Assimilation of microwave imagers and precipitation radars in the ensemble-based variational assimilation method, 2013 年 EUMETSAT 気象衛星会議, 2013 年 9 月, オーストリア, ウィーン
  - ・ 気象庁における地球観測衛星データの利用, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ 衛星搭載レーダの同化に向けて (その 1) 気象庁非静力学モデル (JMA-NHM) と TRMM/PR との比較, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Status report of space agency, 第 18 回国際 ATOVS 会議, 2014 年 3 月, 韓国, 済州島
  - ・ Simulation and impact study of future spaceborne Doppler wind lidar in Japan, 第 94 回米国気象学会年次大会, 2014 年 2 月, アメリカ, ジョージア州アトランタ市
  - ・ Assimilation of cloudy radiances from satellite infrared imagers and sounders, 衛星データ同化専門家会合, 2014 年 10 月, 韓国, ソウル市
  - ・ Recent development of satellite data assimilation at JMA, 衛星データ同化専門家会合, 2014 年 10 月, 韓国, ソウル市
  - ・ Assimilation of geostationary satellite at JMA, 衛星データ同化専門家会合, 2014 年 10 月, 韓国, ソウル市
- 小川浩司
  - ・ Relationship between Position of the Kuroshio Path and Sea Level Anomaly in the Seto Inland Sea in Japan, 7th Coastal Altimetry Workshop, 2013 年 10 月, アメリカ, コロラド州ボルダー
  - ・ MOVE/MRI.COM-WNP 長期再解析値から見た黒潮流軸変動と瀬戸内海の水位との関係, 2013 年度日本海洋学会秋季大会, 2013 年 9 月, 北海道札幌市
- 尾瀬智昭
  - ・ 21 世紀末熱帯海面水温・降水量変化と中高緯度の海面気圧変化, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 赤道太平洋海面水温変動の中高緯度大気への影響頻度, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 鬼澤真也
  - ・ Ground deformation of Izu-Oshima volcano in magma accumulation period, 国際火山学地球内部化学協会 2013 年学術総会, 2013 年 7 月, 鹿児島県鹿児島市
  - ・ 地殻変動から見る伊豆大島火山のマグマ蓄積過程, 2013 年度日本火山学会秋季大会, 2013 年 9 月, 福島県猪苗代町
  - ・ 伊豆大島火山の山頂噴火に伴う地殻変動, 2013 年度日本火山学会秋季大会, 2013 年 9 月, 福島県猪苗代町
- 小田真祐子
  - ・ 2 スケール Neighboring Ensemble に基づく変分法同化法スキーム, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 小野木茂
  - ・ 汎用デジタルカメラを使用した野外 P I V 技術, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 小畑 淳
  - ・ 巨大火山噴火が引き起こす気候炭素循環変動—気象研地球システムモデルによる解析—, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
- 小山 亮
  - ・ Analysis of tropical cyclone warm core structure by using the Advanced Microwave Sounding Unit (AMSU) data, Japan Geoscience Union Meeting 2013, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ 2011 年台風第 15 号 (Roke) の急発達時にみられた構造変化と環境場の特徴, 京都大学防災研究所共同研究集会「台風研究会」, 2013 年 9 月, 京都府宇治市
  - ・ ラピッドスキャン観測で得られる台風領域の上層発散と AMSR-E 等で観測される降水バ

- ンドとの関係, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- ・ 衛星マイクロ波データを用いて推定された 2013 年台風第 7 号の強度, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 折口征二
- ・ 雲解像アンサンブルによる 2012 年台風第 15 号の 3 重眼再現実験, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ EnKF・EnVar の統合メソデータ同化実験システムの開発, 第 15 回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013 年 9 月, 北海道札幌市
  - ・ 雲解像アンサンブルによる 2012 年台風第 15 号の 3 重眼再現実験, 平成 25 年度京都大学防災研究所共同研究集会「台風研究会」, 2013 年 9 月, 京都府宇治市
  - ・ EnKF・EnVar の統合メソデータ同化実験システムの開発, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Displaced ensemble variational assimilation experiment using brightness temperatures of microwave imager, AGU Fall meeting, 2013 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ NHM-EnVar システムの開発, 「先端的データ同化と雲解像アンサンブル手法に関する研究」平成 25 年度第 1 回研究集会, 2014 年 1 月, 静岡県沼津市
  - ・ Development of the NHM-EnVar system, The 4th Research Meeting of Ultra-high Precision Mesoscale Weather Prediction, 2014 年 3 月, 兵庫県神戸市
- 甲斐智博
- ・ 気象研究所露場観測データによる草地の地表面熱収支の解析, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 梶野瑞王
- ・ Modal Bin Hybrid Model の開発と従来法との比較, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ エアロゾルの核形成から CCN 活性までの高効率な数値手法の開発, 研究会「宇宙線による雲核生成機構の解明」, 2013 年 7 月, 愛知県名古屋市
  - ・ 3-モーメントビン法の開発と, 2-モーメント法の問題点について, 第 30 回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2013 年 8 月, 京都府京都市
- 勝間田明男
- ・ 巨大地震の早期規模推定手法, JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム, 津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究 (チリプロジェクト), 国内ワークショップ, 2013 年 4 月, 東京都千代田区
  - ・ 最大振幅に基づく津波警報のための即時的マグニチュード決定, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ 計測メルカリ震度の比較, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ 余震の自動イベント検出処理の開発, 日本地震学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 10 月, 神奈川県横浜市
- 加藤輝之
- ・ 平成 24 年 7 月九州北部豪雨の発生要因, 第 39 回メソ気象研究会, 2013 年 5 月, 東京都千代田区
  - ・ 平成 24 年 7 月九州北部豪雨の発生要因, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Numerical reproduction of 6 May 2012 Tsukuba Tornado and effect of warm ocean current on its formation environmental fields, 8-12 July, 2013, Davos Atmosphere and Cryosphere Assembly (DACA-13), 2013 年 7 月, スイス, ダボス
  - ・ Effect of warm ocean current on accumulation of low-level water vapor to cause high impact weather: Case study of 6 May 2012 Tsukuba Tornado event, 28 October-1 November, 2013, Fifth International Workshop on Monsoons, 2013 年 10 月, 中国, マカオ
  - ・ 大気下層水蒸気蓄積過程における大気・海面相互作用, 大槌シンポジウム「大気・海陸面相互作用と降水過程」, 2013 年 8 月, 宮城県大槌町
  - ・ つくば竜巻をもたらした下層水蒸気の蓄積における黒潮の影響, 第 15 回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013 年 9 月, 北海道札幌市
  - ・ 山口・島根豪雨と 2013 年 7~8 月に大雨をもたらした大気状態の特徴, 2013 年 7・8 月豪雨災害に関する研究会 (日本気象学会), 2013 年 11 月, 宮城県仙台市

- ・ 平成 24 年 7 月 14 日九州北部豪雨をもたらした下層水蒸気の蓄積過程と下層メソ渦との関係, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- ・ 平成 25 年 7 月 28 日山口・島根豪雨の発生要因, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- ・ 顕著現象をもたらす下層水蒸気の蓄積における黒潮の影響 -2012 年 5 月 6 日のつくば竜巻のケース-, 第 11 回環境研究機関連絡会成果発表会, 2013 年 11 月, 東京都千代田区
- ・ 下層水蒸気の蓄積過程における水平解像度依存性, 第 4 回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2014 年 3 月, 兵庫県神戸市
- 釜堀弘隆
  - ・ The Japanese 55-year Reanalysis “JRA-55”: progress and status, GCOS/WCRP AOPC 第 18 回会合, 2013 年 4 月, スイス, ジュネーブ
  - ・ 大気再解析はどの程度, 現実大気を再現しているか?, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ JRA-55 ファミリーにおける熱帯低気圧表現, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 長期再解析 JRA-55 の紹介, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ MAHASRI, AMY, and Future Earth, The Third MAHASRI/HyARC Workshop on Asian Monsoon and Water Cycle, 2013 年 8 月, ベトナム, ダナン
  - ・ 再解析に表現される台風の特性と有用性, 台風研究会, 2013 年 9 月, 京都府宇治市
  - ・ The Japanese 55-year Reanalysis (JRA-55): status and plans, 第 6 回 WMO データ同化シンポジウム, 2013 年 10 月, アメリカ, メリーランド州カレッジパーク
  - ・ AMY reanalysis, AMY Open Science Conference, 2013 年 10 月, 中国, 珠海
  - ・ AMY coordinated observations, reanalysis and data management, AMY Open Science Conference, 2013 年 10 月, 中国, 珠海
  - ・ AMY reanalysis, Fifth International Workshop on Monsoons, 2013 年 10 月, 中国, マカオ
  - ・ Asian Monsoon Years (AMY) 2007-2012, Fifth International Workshop on Monsoons, 2013 年 10 月, 中国, マカオ
  - ・ JRA-55AMIP に表現される熱帯低気圧, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ AMY coordinated observations, reanalysis and data management, The Third International Workshop on GRENE-CAAM, 2014 年 3 月, インドネシア, バリ
- 川合秀明
  - ・ Evaluation of Vertical Structures of Marine Boundary Layer Clouds over Mid-Latitudes-- Southern Ocean and Northern Pacific in Summer --, 4th WGNE workshop on systematic errors in weather and climate models, 2013 年 4 月, イギリス, エクセター
  - ・ 中緯度の海洋下層雲のパラメタリゼーション, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Improvement of a Stratocumulus Scheme for Mid-latitude Marine Low Clouds, Joint EUCLIPSE - CFMIP meeting, 2013 年 6 月, ドイツ, ハンブルク
  - ・ モデルにおける中緯度海洋下層雲の鉛直構造の検証, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Characteristics of clouds and aerosol indirect effects in the MRI-CGCM3, American Geophysical Union's annual Fall Meeting, 2013 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ 全球モデルにおける中緯度海上下層雲の雲頂高度の検証, 第 9 回ヤマセ研究会, 2014 年 3 月, 岩手県盛岡市
  - ・ Importance of minor treatments in parameterizations in GCMs for the cloud representations and the cloud feedbacks, The WCRP Grand Challenge Workshop: Clouds, Circulation and Climate Sensitivity, 2014 年 3 月, ドイツ, クロイト
- 川畑拓矢
  - ・ JNoVA アジョイントモデルを用いた新しい NHM-4DVAR の開発, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区

- ・ 新しい NHM-4DVAR を用いたデータ同化実験, 第 15 回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013 年 9 月, 北海道札幌市
- ・ Development of a New Storm-Scale 4D-Var Assimilation System, Sixth WMO Symposium on Data Assimilation, 2013 年 10 月, アメリカ, カレッジパーク
- ・ Development of a New Storm-Scale 4D-Var Assimilation System, RIMS International Conference on Theoretical Aspects of Variability and Predictability in Weather and Climate Systems, 2013 年 10 月, 京都府京都市
- ・ 新しい NHM-4DVAR を用いたデータ同化実験, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- ・ Data Assimilation with a cloud-resolving 4D-Var, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities, 2013 年 12 月, 茨城県つくば市
- ・ GPS Slant Total Delay Assimilation with a Storm Scale 4D-Var on an MCS Event. International Symposium on Data Assimilation, ドイツ, ミュンヘン
- ・ Development of Ultra-high Resolution 4D-Var, 局地豪雨予測のための先端的データ同化と雲解像アンサンブル手法に関する研究集会, 2014 年 2 月, 静岡県沼津市
- 北島尚子
  - ・ 2012 年に沖縄本島を通過した台風の特徴, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 台風 1212 号の発生と構造の特徴、及びそれに対する環境場の影響, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Extratropical Transition of Tropical Cyclones in the Western North Pacific Basin, 2nd TRCG Forum, 2013 年 12 月, 中国, マカオ
- 北村祐二
  - ・ a priori 解析に基づいて推定した渦粘性係数の空間解像度依存性(2), 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 木村一洋
  - ・ レーダー・アメダス解析雨量を用いたひずみ計の降水補正について, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ 近畿地方北部における地殻歪の長期的変化に見られる 2010 年頃の変化, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
- 楠 研一
  - ・ TOMACS 観測期間中に首都圏稠密観測網で捉えた 孤立積乱雲の発生過程: 2012 年 7 月 26 日の事例, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 庄内平野で観測された渦の上陸時の変質 {渦の傾き増加のメカニズム, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 非降水エコーの出現特性—季節変化—, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ ブルージェットの発生と親雷雲の放電特性, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Three-Dimensional Characteristics of VHF Lightning Radiation Sources in Winter Thunderstorms, 2013 年ダボス大気圏・雪氷圏会議 (DACA-13), 2013 年 7 月, スイス, ダボス
  - ・ Preliminary results of convective storm initiation and evolution during TOMACS: Observational perspective, 15th Conference on Mesoscale Processes, 2013 年 8 月, アメリカ, レゴン州ポートランド
  - ・ ブルージェット群と関連する雷放電の特性について, 電気学会誌, 平成 25 年基礎・材料・共通部門大会 13-C-a2-1, 2013 年 9 月, 神奈川県横浜市
  - ・ 「身近な風を知る—突風とヤマセー」, 日本気象学会東北支部気象講演会, 2013 年 10 月, 青森県弘前市
  - ・ 「冬季日本海側の竜巻等突風に関する最新研究」, 日本気象学会東北支部気象講演会, 2013 年 10 月, 宮城県仙台市
  - ・ 冬季雷雲における雷放電路と降水コアおよび渦との関係, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 多点型地上観測システムでとらえた下層渦の構造, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市

- ・ 2011年12月22日庄内で観測された突風における地上風の特徴, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 2012年12月11日庄内平野に突風被害をもたらした気象じょう乱, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 「突風—その理解と災害低減に向けた電磁界技術」, 自然災害の予測と監視のための電磁界技術, 2013年11月, 東京都中央区
  - ・ 冬季雷放電路の3次元構造と降水コアおよび渦との関係, 日本大気電気学会第90回研究発表会, 2014年1月, 東京都小金井市
  - ・ 高速スキャンレーダーによる突風・局地的大雨の探知技術の開発, 災害・危機管理 ICT シンポジウム2014, 2014年2月, 神奈川県横浜市
  - ・ 「気象研究所における高速スキャン・高分解能レーダーによる竜巻等の顕著気象に関する研究, 次世代気象災害探知・予測システムに関するワークショップ」, 2014年3月, 大阪府吹田市
- 楠 昌司
- ・ CMIP5 モデルによる梅雨の再現性, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Reproducibility of precipitation over East Asia by CMIP5 models, Sixth China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology, 2013年10月, 中国, 南京
  - ・ Changes in precipitation intensity over East Asia projected by a 60km-mesh global atmospheric model, 第5回モンスーン国際ワークショップ, 2013年10月-11月, 中国, マカオ(10/30-31)及び香港(11/1)
  - ・ 60km 格子全球大気モデルによる降水強度の将来変化, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 60km 格子全球大気モデルによる北極域の降水強度の将来変化, 第4回極域科学シンポジウム, 2013年11月, 東京都立川市
  - ・ Future precipitation change over Nepal projected by 20-km mesh atmospheric global model, International Conference on Climate Change, Water Resources and Disasters in Mountainous Regions, 2013年11月, ネパール, カトマンズ
  - ・ Reproducibility of precipitation over East Asia by CMIP5 models, 日本気象学会関西支部2013年度四国地区例会, 2013年12月, 香川県高松市
  - ・ Reproducibility of precipitation over East Asia by CMIP5 models, 第4回降水データ応用技術に関する全球降水観測アジアワークショップおよび第2回アジアの降水と気候の将来変化に関するCMIP5モデル相互比較国際ワークショップ, 2014年1月, 東京都
  - ・ Future precipitation change over Latin America and the Caribbean by 20-km and 60-km mesh atmospheric global models, World Climate Research Program (WCRP) Conference for Latin America and the Caribbean :Developing,linking and applying climate knowledge, 2014年3月, ウルグアイ, モンテビデオ市
  - ・ Future precipitation change over Latin America and the Caribbean by 20-km and 60-km mesh atmospheric global models, 第4回 超高精度メソスケール気象予測研究会, 2014年3月, 兵庫県神戸市
- 朽木勝幸
- ・ 地上及び衛星リモートセンシングによって推定された北西グリーンランド氷床上SIGMA-Aにおける積雪粒径, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ MODIS から推定したグリーンランドにおける積雪物理量の検証, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Comparison of snow physical parameters retrieved from MODIS with in-situ measurements on northwestern Greenland ice sheet, DACA-13, 2013年7月, スイス, ダボス
  - ・ 近赤外域の光学測定による積雪粒径の推定, 雪氷研究大会, 2013年9月, 北海道北見市
  - ・ MODIS データを用いたグリーンランド北西部における積雪不純物濃度と積雪粒径の推定, グリーンランド氷床の質量変化と全球気候変動への影響に関する研究集会, 2013年11月, 北海道札幌市
  - ・ ニーオルスンにおける積雪不純物濃度と積雪粒径の観測, 日本気象学会2013年度秋季大

- 会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 工藤 玲
- ・ ライダーとスカイラジオメータから推定したエアロゾル光学特性の鉛直分布, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Development of an algorithm to estimate the aerosol vertical profile from sky radiometer and lidar measurements, International SKYNET Workshop 2013 and the 19th CEReS International Symposium on Remote Sensing, 2013年7月, 千葉県千葉市
- 国井 勝
- ・ Improving tropical cyclone forecasts with an ensemble Kalman filter, 京都大学特別気候合同セミナー, 2013年4月, 京都府京都市
  - ・ 平成24年7月九州北部豪雨の予測可能性, 第39回メソ気象研究会, 2013年5月, 東京都千代田区
  - ・ 海面水温の不確実性を考慮したアンサンブルカルマンフィルタによる台風予報実験, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 京コンピュータを用いた900メンバー-LETKF同化実験, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Mesoscale data assimilation for a local severe rainfall event with the NHM-LETKF system, Sixth Symposium on Data Assimilation, 2013年10月, アメリカ, メリーランド
  - ・ Mesoscale data assimilation for a local severe rainfall event with the NHM-LETKF system, RIMS International Conference on Theoretical Aspects of Variability and Predictability in Weather and Climate Systems, 2013年10月, 京都府京都市
  - ・ 平成24年7月九州北部豪雨のアンサンブルデータ同化実験, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Mesoscale data assimilation for a local severe rainfall event with the NHM-LETKF system, 第46回米国地球物理学連合秋季大会, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ 2013年の台風事例に関するNHM-LETKFによるデータ同化実験, 第46回米国地球物理学連合秋季大会, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ 平成24年7月九州北部豪雨のアンサンブルデータ同化実験, 災害・危機管理ICTシンポジウム2014, 2014年2月, 神奈川県横浜市
  - ・ Improving tropical cyclone forecasts with an ensemble Kalman filter and SST uncertainties, 2014 Ocean Sciences Meeting, 2014年2月, アメリカ, ホノルル
  - ・ Data assimilation experiments for TCs with the LETKF, 第4回 超高精度メソスケール気象予測研究会, 2014年3月, 兵庫県神戸市
- 倉賀野連
- ・ 海水質量変動に伴う領域的な海面水位の季節変動, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ Regional ocean mass contribution to sea surface height variations with seasonal timescale, 2013 OSTST meeting, 2013年10月, アメリカ, コロラド州ボルダー
  - ・ Improvement of assimilation procedure for sea surface height data by removing nonsteric seasonal height, GODAE OceanView Symposium "5 years of GODAE OceanView - current progress and future priorities", 2013年11月, アメリカ, メリーランド州バルチモア
  - ・ Ocean mass variations caused by barotropic response to seasonally varying atmospheric forcing, Ocean Sciences Meeting 2014, 2014年2月24日, アメリカ, ホノルル
- 黒田友二
- ・ 2010年夏季のロシアブロッキングのメカニズムと予測可能性, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 冬季成層圏循環の環状モード予測精度に与える役割, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 成層圏周極渦崩壊現象の予測可能性 ~2010年1月と2009年1月の比較解析~, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 小杉如央
- ・ Spatial and temporal variability of ocean acidification in the interior western North Pacific, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013年6月, 中国, 北京

- ・ 2013年夏季の北極海における  $p\text{CO}_2/p\text{CH}_4$  の時間変動, 2014年度日本海洋学会春季大会、2014年3月, 東京都
- 小林昭夫
  - ・ 四国東部から紀伊水道にかけて発生した長期的スロースリップ(2), 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 大きな地震の余震数と余効変動との関係, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 1946年南海地震直前の潮位変化証言の検討, 日本地震学会2013年度秋季大会, 2013年10月, 神奈川県横浜市
  - ・ 大きな地震の余震数と余効変動との関係(その2), 日本地震学会2013年度秋季大会, 2013年10月, 神奈川県横浜市
- 小林ちあき
  - ・ 従来型観測データのみを用いた長期再解析(JRA-55C)の評価(中間報告), 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ JRA-55 で表現された平均子午面循環の特徴(2), 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Brewer-Dobson circulation diagnosed from JRA-55, SPARC 2014, 2014年1月, ニュージーランド, クイーンズタウン
- 財前祐二
  - ・ 中部山岳サイトで観測された東アジアからの人為起源エアロゾル, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 福島事故前後のつくばでの微小粒子の変動, 研究会「宇宙線による雲核生成機構の解明」, 2013年7月, 愛知県名古屋市
  - ・ 関東での2013年冬季-春季の大気エアロゾル個別粒子の特徴, 第30回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2013年8月, 京都府京都市
  - ・ 千畳敷(木曾駒ヶ岳)で観測されたエアロゾルについて, 山岳大気研究部門第3回成果報告会, 2014年3月, 東京都文京区
  - ・ 千畳敷(木曾駒ヶ岳)で観測されたエアロゾルについて, 次世代気象災害探知・予測システムに関するワークショップ, 2014年3月, 大阪府吹田市
- 斎藤篤思
  - ・ 氷晶核数濃度の地上モニタリング観測, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 斉藤和雄
  - ・ Tokyo Metropolitan Area Convection Study (TOMACS). 7th Meeting, WWRP Working Group on Mesoscale Weather Forecasting Research. 2013年5月, カナダ, モントリオール
  - ・ The K-supercomputer project in Japan. 7th Meeting, WWRP Working Group on Mesoscale Weather Forecasting Research, 2013年5月, カナダ, モントリオール
  - ・ Data assimilation and ensemble forecast toward the cloud resolving NWP. Davos Atmosphere and Cryosphere Assembly 2013, 2013年7月, スイス, ダボス
  - ・ Numerical Prediction of Severe Weather, The 6th China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology, 2013年10月, 中国, 南京
  - ・ Data assimilation experiments of Myanmar cyclone Nargis based on NHM-LETKF, The 6th China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology, 2013年10月, 中国, 南京
  - ・ 台風が南海上にある時に出現する非地衡風の成因について, 第15回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 台風が南海上にある時に出現する非地衡風の成因について, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ High resolution ensemble prediction for local high impact weather --experiences in Beijing 2008RDP and a case study for the 26 Aug 2011 local heavy rainfall--, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities (TOMACS), 2013年12月, 茨城県つくば市
  - ・ Initial and lateral boundary perturbations in the mesoscale ensemble prediction. Seminar at AEMET, 2014年3月, スペイン, マドリード
  - ・ K-computer project in Japan and the Tokyo Metropolitan Area Convection Study (TOMACS). Seminar at AEMET, 2014年3月, スペイン, マドリード
- 斉藤貞夫
  - ・ 地上気象観測網で観測した孤立積乱雲がもたらす降水粒子の特徴, 日本気象学会2013年

- 度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
- ・ 関東地方で発生する非降水エコーとひまわり高頻度観測, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ A case study of the merging of two mesocyclones in the TOMACS field campaign area of Tokyo on 26 August 2011, 第1回 TOMACS 国際ワークショップ, 2013年12月, 茨城県つくば市
- 酒井 哲
- ・ Cloud liquid water measurements using the Raman lidar technique: current understanding and future research needs, International Symposium on Remote Sensing 2013, 2013年5月, 千葉県習志野市
  - ・ ライダーによるオゾン観測と化学気候モデルとの比較, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Lauder におけるプジェウエ火山噴火によるエアロゾル層のライダー観測結果について, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Asian dust and cirrus cloud as measured with Raman lidar and instrumented balloon over Tsukuba, Japan, The 3rd International Symposium on Atmospheric Light and Remote Sensing, 2013年7月, 愛知県名古屋市
  - ・ つくば上空成層圏エアロゾルの長期変動—気象研ライダー観測と全球エアロゾルモデルの比較—, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ DIAL と GOSAT TIR で観測された下部対流圏オゾンカラム量の比較, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 佐賀のライダーとスカイラジオメータによって検出された2013年桜島火山灰の高度分布と光学特性, 第18回大気ライダー研究会, 2014年2月, 東京都台東区
- 坂本 圭
- ・ 日本沿岸海況監視予測システムに向けた瀬戸内海モデルの開発, 2013 年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 日本沿岸海況監視予測システムに向けた高解像度日本沿岸モデルの開発, 北大低温研萌芽研究シンポジウム, 2013年12月, 北海道札幌市
- 櫻木智明
- ・ Development of tropical cyclone intensity estimation method using TRMM/TMI Brightness Temperature, 台風セミナー2013, 2013年10月, 京都府京都市
  - ・ TRMM/TMI 輝度温度データを用いた台風強度推定法の改良と誤差検証(その2), 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 佐々木秀孝
- ・ 地球温暖化による六甲おろしの将来変予測の可能性について, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Evaluation of a high resolution non-hydrostatic regional climate model (NHRCM-5 km)downscaling: A case study of Tokyo, Japan, CORDEX, 2013年11月, ベルギー, ブリュッセル
  - ・ NHRCM simulation of heavy rainfall variability in the Philippines, CORDEX, 2013年11月, ベルギー, ブリュッセル
- 笹野大輔
- ・ Oxygen Decrease with Bidecadal Oscillations in the Northwestern Pacific, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013年6月, 中国, 北京
  - ・ The hotspots of high CH<sub>4</sub> and their relations with CO<sub>2</sub> in the surface seawater in the western Arctic Ocean, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013年6月, 中国, 北京
  - ・ 北極海の表面海水中における CO<sub>2</sub> と CH<sub>4</sub> の変動要因, 2013 年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 「みらい」MR12-E03 航海における表面海水中 CH<sub>4</sub> と CO<sub>2</sub> の関係, 第4回極域科学シンポジウム, 2013年11月, 東京都立川市.
  - ・ Oxygen Decrease in the Western North Pacific, 2014 Ocean Sciences Meeting, 2014年2月, アメリカ, ホノルル
  - ・ 西部北太平洋における溶存酸素の減少, 2014 年度日本海洋学会春季大会, 2014年3月, 東京都
  - ・ 北極海表面で観測された高濃度 CH<sub>4</sub> および CO<sub>2</sub> との関連性, 2013 年度日本地球化学会年会, 2013年9月, 筑波大学

- 佐藤英一
- ・ Ku バンドレーダーを用いた降水コアの解析, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Characteristics of descending reflectivity cores observed by Ku-band radar, 36th Conference on Radar Meteorology, 2013 年 9 月, アメリカ, コロラド州ブリッケンリッジ
  - ・ Comparison between Descending Reflectivity Cores (DRCs) Observed by Different Radars, International Symposium on Earth-Science Challenges 2013, 2013 年 10 月, 京都府宇治市
  - ・ Ku バンドレーダーを用いた降水コアの解析:第 2 報, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Descending reflectivity core (DRC) analysis by Ku-band radar, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities (TOMACS), 2013 年 12 月, 茨城県つくば市
  - ・ Data archive at MRI, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities (TOMACS), 2013 年 12 月, 茨城県つくば市
  - ・ 竜巻の気象学的構造と樹木被害の特徴, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities (TOMACS), 2013 年 12 月, 茨城県つくば市
  - ・ Ku バンドレーダーで観測した降水コアの特性, 次世代気象災害探知・予測システムに関するワークショップ, 2014 年 3 月, 大阪府吹田市
- 澤 庸介
- ・ Variability of CO<sub>2</sub> mixing ratios observed in the upper troposphere revealed by frequent continuous observations by commercial airliner, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013 年 6 月, 中国, 北京
  - ・ 気象研究所鉄塔における 10 年間の CH<sub>4</sub>, CO, H<sub>2</sub>, CO<sub>2</sub> 濃度観測, 第 19 回大気化学討論会, 2013 年 11 月, 石川県七尾市
- 志藤文武
- ・ 観測露場内で生じる気温差の通年観測-東京管区気象台(千代田区大手町)の場合-, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 観測露場周辺の気温の通年観測(第 2 報)-東京(千代田区大手町)の場合-, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 嶋田宇大
- ・ An estimation of tropical cyclone intensity by using single Doppler radar data –a case study on Typhoon Bolaven (2012)–, 台風セミナー2013, 2013 年 10 月, 京都府京都市
  - ・ 単一ドップラーレーダーデータを利用した台風強度の推定-2012 年台風第 15 号の事例-, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 単一ドップラーレーダーデータを利用した台風強度の推定-2012 年台風第 15 号 (Bolaven) の事例-, 日本気象学会沖縄支部研究発表会, 2014 年 3 月, 沖縄県国頭郡恩納村
- 小司禎教
- ・ GPS/GNSS による水蒸気非一様性の指標と突風や短時間強雨との統計的關係, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ GPS を用いた水蒸気非一様性解析, 及び対流性降水との關係. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ GPS/GNSS 気象学,平成 25 年度高等測量研修,2013 年 7 月,東京都小平市
  - ・ 竜巻の観測 ～メカニズム解明を目指して～, 日本気象学会関西支部第 35 回夏期大学, 2013 年 8 月, 京都府京都市
  - ・ PWV Variation Associated with Cold Outflow Observed by Dense GNSS Network, International Symposium on Earth-Science Challenges 2013, 2013 年 10 月, 京都府宇治市
  - ・ GPS/GNSS 視線遅延を利用した 2012 年 5 月 6 日の可降水量変動解析, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ The Use of GPS/GNSS Slant Delays for Early Detection of Local Severe Thunderstorms, The fifth Asia Oceania Regional Workshop on GNSS, 2013 年 12 月, ベトナム, ハノイ

- ・ GPS/GNSS Slant Delay, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convective Study for Extreme Weather Resilient Cities, 2013年12月, 茨城県つくば市
  - ・ Estimation of Water Vapor Variation Around Each GPS/GNSS Station Using Slant Path Delay for Monitoring of Cumulus Convection, International Symposium on Meso-scale Meteorology Using GPS, Radars and Numerical Models, 2014年1月, インドネシア, バンドン市
- 新堀敏基
- ・ 桜島における空振比較観測, 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ Observations by the JMA weather radar network and quantitative predictions of tephra-fall with the JMA RATM for the eruptions at Shinmoe-dake volcano in 2011, 国際火山学地球内部化学協会 2013年学術総会, 2013年7月, 鹿児島県鹿児島市
  - ・ 移流拡散モデルによる大規模噴火を想定した降下火砕物予測の課題, 2013年度日本火山学会秋季大会, 2013年9月, 福島県猪苗代町
  - ・ 気象レーダーを活用した火山噴煙観測と降灰予報, 災害・危機管理 ICT シンポジウム 2014, 2014年2月, 神奈川県横浜市
- 清野直子
- ・ 都市における下向き赤外放射量の観測, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ NHMによる首都圏の夏季降水シミュレーション, 第15回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 首都圏の夏季降水に対する都市の効果(2) -NHM 実験からみた日降水量へのインパクト-, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Radiosonde observations in TOMACS and case studies of heavy rainfalls in Tokyo, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities (TOMACS), 2013年12月, 茨城県つくば市
- 関山 剛
- ・ 福島原発事故 Cs137 移流拡散シミュレーションのモデル解像度依存性 ~15km、3km、500m の比較~, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 気象庁エーロゾル数値モデルによる全球ダスト分布の再現 ~数値モデルを使って鳥取県の PM2.5 濃度を再現する~, 平成 25 年度共同研究発表会, 2013年12月, 鳥取県鳥取市
  - ・ Spatial resolution dependence of Fukushima radionuclide simulations using 15-km, 3-km, and 500-m grid models, 第94回米国気象学会年次大会, 2014年2月, アメリカ, ジョージア州アトランタ市
- 瀬古 弘
- ・ LETKF ネストシステムを用いた 2012年5月6日のつくばの竜巻のアンサンブル予報実験, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 気象庁現業ドップラーレーダで求めた屈折率の時間変化分布(下層水蒸気分布のデータ同化に向けて), 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Mesoscale super-high-resolution modelling on the sea-breeze horizontal convective rolls: The impacts of landuse and buildings, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ LETKF ネストシステムを用いた 2012年5月6日のつくばの竜巻のアンサンブル予報実験, 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 気象庁現業ドップラーレーダで求めた屈折率分布(局地豪雨の予報改善を目指したデータ同化に向けて), 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ Impacts of RO Data on Rainfall Forecasts of Heavy Rainfalls and Typhoon Developments, Symposium on Microsatellites for Remote Sensing (SOMIRES 2013), 2013年8月, 千葉県千葉市
  - ・ 面的水蒸気観測 SAR への期待, 平成 25 年度京都大学防災研究所特定研究集会「SAR が切り拓く地球人間圏科学の新展開」, 2013年8月, 京都府宇治市
  - ・ LETKF のネストシステムを用いて再現した竜巻に伴う渦の発生要因, 第 15 回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ Assimilation Experiments of Refractivity Data Obtained by JMA-operational Doppler

Radar, International Symposium on Earth-Science Challenges, 2013 The 3rd Summit between the University of Oklahoma and Kyoto University, 2013年10月, 京都府宇治市

- Ensemble Forecast Experiments of Tornados Occurred on 6th May 2012 using a Nested-LETKF System, International Symposium on Earth-Science Challenges, 2013 The 3rd Summit between the University of Oklahoma and Kyoto University, 2013年10月, 京都府宇治市
- Ensemble forecast experiments of tornadoes occurred on May 6th 2012 using a nested-LETKF system, RIMS International conference on theoretical aspects of variability and predictability in weather and climate systems, 2013年10月, 京都府京都市
- 気象庁現業ドップラーレーダで求めた屈折率の同化実験, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 観測データの即応的インパクト実験, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 超高精度メソスケール気象予測の実証 -豪雨・竜巻の実験結果防災情報の高度化をめざして-, 第3回 HPCI 戦略プログラム分野3 シンポジウム, 2013年11月, 東京都千代田区
- Local heavy rainfalls and tornadoes reproduced by a nested-LETKF system, First International Workshop on Tokyo Metropolitan area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities, 2013年12月, 茨城県つくば市
- Data Assimilation Experiments using GNSS Water Vapor Data, International symposium on meso-scale meteorology using GPS, radars and numerical models, 2014年1月, インドネシア, バンドン市
- Data assimilation experiments of refractivity obtained from Doppler Radar, 平成25年度先端的データ同化と雲解像アンサンブル手法に関する研究集会, 2014年1月, 静岡県沼津市

高木朗充

- 火山噴煙の高さの即時的な把握の検討, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市

- Relationship between infrasound pressure and possible flight distance of ballistic ejecta, 国際火山学地球内部化学協会2013年学術総会, 2013年7月, 鹿児島県鹿児島市
- 気象庁レーダーによる火山噴煙観測と降灰予報業務の高度化, 次世代安心・安全 ICT フォーラム企画部会 災害・環境監視技術検討会, 2013年7月, 鹿児島県鹿児島市
- 気象庁非静力学モデルを用いた対流圏補正による SAR 干渉解析 霧島山等への適用, 2013年度日本火山学会秋季大会, 2013年9月, 福島県猪苗代町

田尻拓也

- 広範なエアロゾル種の雲核・氷晶核能に関する研究(その3), 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区

- MRI 雲生成チェンバーによるエアロゾルの間接効果に関する実験的研究(その3), 第30回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2013年8月, 京都府京都市
- 広範なエアロゾル種の雲核・氷晶核能に関する研究(その4), 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市

田中泰宙

- 汚染混合型黄砂の数値モデル研究: 2013年1月の大気汚染事例, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区

- 超巨大火山噴火による気候変化の数値実験 -気象研究所気候モデルによるトバ火山噴火シミュレーション-, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
- 気象研究所全球モデルによる BC 削減の有効性評価について, H25年度環境省環境研究総合推進費アドバイザーボード会合, 2013年8月, 東京都文京区
- 気候モデルによる光吸収性エアロゾルの影響評価, 第30回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2013年8月, 京都府京都市
- 大気汚染と火山噴火: 2013年7月の桜島噴火は本州の大気汚染に影響したか?, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 残留した枯れ草がダスト発生に及ぼす影響の数値実験, 風送ダストに関する現状と今後

- の展開に関する研究集会, 2014年1月, 福岡県春日市
- ・ Numerical Simulation of Climatic Response to Supervolcano Eruption using MRI-CGCM3, 94th AMS Annual Meeting, 2014年2月, アメリカ, ジョージア州アトランタ
  - ・ Multi-model intercomparison of the global transport of radionuclides from Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, 94th AMS Annual Meeting, 2014年2月, アメリカ, ジョージア州アトランタ
- 津口裕茂
- ・ 集中豪雨が発生する総観~メソ $\alpha$ スケール環境場の統計解析, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 2010年10月20日の奄美豪雨 - 降水系の発生・維持メカニズムの解析 -, 第15回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 2010年10月20日の奄美豪雨 - 気団変質過程による暖質気塊の形成 -, 第11回環境研究シンポジウム, 2013年11月, 東京都千代田区
  - ・ 2010年10月20日の“奄美豪雨”の発生要因について(その3), 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 辻野博之
- ・ 気象研究所における汎用海洋モデル開発の現状と展望, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 気象研の沿岸モデル開発, 2014年度日本海洋学会春季大会, 2014年3月, 東京都港区
- 対馬弘晃
- ・ 沖合津波観測データ同化システムの開発, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ Development of Tsunami Forecasting System Based on Offshore Tsunami Data Assimilation, 10th AOGS, 2013年6月, オーストラリア, ブリスベン
  - ・ Offshore tsunami observation network around Japan and its application to real-time tsunami prediction, The 3rd Japan-Chile Symposium on Tsunami Disaster Mitigation, 2013年8月, 東京都港区
  - ・ tFISH に基づく津波即時予測システムの性能評価, 日本地震学会 2013 年度秋季大会, 2013年10月, 神奈川県横浜市
  - ・ 沖合津波観測データ同化システムの開発, 第60回海岸工学講演会, 2013年11月, 福岡県福岡市
  - ・ Real-time forecasting of near-field tsunamis based on source estimation from offshore tsunami data , 2013 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ Tsunami source of the 2011 Tohoku earthquake estimated from tsunami data of pop-up bottom pressure gauges inside the source, 2014 Ocean Science Meeting, 2014年2月, アメリカ, ハワイ
- 坪井一寛
- ・ Seasonal changes of CO<sub>2</sub>, CH<sub>4</sub> and N<sub>2</sub>O in the upper posphere/lower stratosphere over the Eurasian continent observed by commercial airliner, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013年6月, 中国, 北京
  - ・ 南鳥島における温室効果ガス観測, 第19回大気化学討論会, 2013年11月, 石川県七尾市
- 露木 義
- ・ 決定論的予測可能性の必要条件と変分法データ同化(第2報), 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Deterministic predictability of the most probable state and reformulation of variational data assimilation, 6<sup>th</sup> China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology, 2013年10月, 中国, 南京
  - ・ Deterministic predictability of the most probable state and reformulation of variational data assimilation, Seminar on Rare Event Sampling and Related Topics I, 2014年3月, 東京都
- 出牛 真
- ・ Impacts of ozone recovery and increase in greenhouse gases on the lower stratospheric mean transport and eddy mixing, Davos Atmosphere and Cryosphere Assembly 2013, 2013年7月, スイス, ダボス
  - ・ オンライン領域化学輸送モデル(NHM-Chem)の開発, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市

- 豊田隆寛
- Mixed-layer depth intercomparison (revisited), CLIVAR GSOP/GODAE Ocean View Ocean Reanalyses Workshop, 2013年7月, イギリス, リーディング
  - 海洋再解析データ相互比較における混合層変動, 国際沿岸海洋研究センター共同利用研究集会, 2013年8月, 岩手県上閉伊郡大槌町
  - 海洋再解析アンサンブルによる北太平洋混合層の経年一十年規模変動の研究, 海洋体循環の力学—エクマン層から中深層循環までの研究会, 2013年10月, 大分県玖珠郡九重町
  - 海洋データ同化の国際的な動向, 第11回環境研究シンポジウム「水圏・海洋を巡る環境研究の最前線」, 2013年11月, 東京都千代田区
- 永井智広
- リモートセンシングによる下部対流圏オゾン量導出のための検証観測, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - Nd:YAG レーザーを用いた二酸化窒素観測用ライダーの開発(Ⅲ), 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 仲江川敏之
- クラスタ解析によるCMIP5モデルの21世紀末海面水温変化パターンの分類, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - 全球大気モデルを用いた中米地域の年最大5日積算降水量の将来変化予測, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 南雲信宏
- 夏季関東平野における積乱雲発生に先立つ局地前線の事例解析~2012年7月19日の観測事例とNHMの再現性比較~, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - JMA-NHMの理想実験における境界層過程の解像度依存性の検証, 第15回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013年09月, 北海道札幌市
  - NHM境界層過程の理想実験による解像度依存性検証, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 中野英之
- 全球海洋大循環モデルで計算された3次元の炭素収支解析, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - 黒潮続流に対するShatsky Riseの効果, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
  - Effects of the Satsky Rise on the Kuroshio Extension, Ocean Sciences Meeting 2014, 2014年2月, アメリカ, ホノルル
  - HM系準地衡自由減衰乱流で東西流縞模様の発現する仕組み—初期等方スペクトルからの発展—, 九州大学応用力学研究所共同利用研究「海洋大循環の力学」研究集会, 2013年11月, 大分県九重町
- 丹羽洋介
- Atmospheric inversion with CONTRAIL exposing CO<sub>2</sub> dynamics in the Asian tropics, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013年6月, 中国, 北京
  - Seasonal variations of CO<sub>2</sub>, CH<sub>4</sub>, N<sub>2</sub>O and CO in the mid-troposphere over the western North Pacific observed by a cargo aircraft C-130H, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013年6月, 中国, 北京
  - NICAM-4D-Varを用いたCO<sub>2</sub>逆推定実験, 第19回大気化学討論会, 2013年11月, 石川県七尾市
- 庭野匡思
- Evaluation of a 1-D snowpack model SMAP applied in the Greenland ice sheet, 欧州地球科学連合2013, 2013年4月, オーストリア, ウィーン
  - Accuracy of simulated snow grain size and shortwave albedo by a 1-D physical snowpack model SMAP: Model validation at Sapporo, Japan and Greenland, 第一回積雪粒径ワークショップ, 2013年4月, フランス, グルノーブル
  - 2012年夏期の北西グリーンランドSIGMA-Aにおける積雪シミュレーション, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - 積雪変質モデルを用いた、2012年夏期の北西グリーンランドSIGMA-Aにおける急激な表面融解の解析, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - グリーンランド氷床上積雪の通年数値シミュレーション, 雪氷研究大会, 2013年9月, 北海道北見市
  - 積雪変質モデルを用いたグリーンランド氷床上積雪物理状態の再現, 日本気象学会2013

- 年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- ・ グリーンランドにおける 大気-雪面相互作用 —積雪変質モデル SMAP のグリーンランドへの適用—, 北大低温研共同研究集会「グリーンランド氷床の質量変化と全球気候変動への影響」, 2013年11月, 北海道札幌市
  - ・ The effects of snow grain size profile on the Greenland ice sheet snow surface melt, 第4回極域科学シンポジウム, 2013年11月, 東京都立川市
- 野坂真也
- ・ 領域気候モデルによるやまじ風の再現性に関する研究, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 萩野谷成徳
- ・ 1日4回の衛星表面温度(LST)の観測値から日平均地表面温度等の推定, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ チベット高原ナム湖域の熱・水循環, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 橋本明弘
- ・ 吸湿性粒子最適シーディング法に関する数値実験, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Numerical Simulation of Transport and Sedimentation of Volcanic Ash for the Eruptions at Mt. Shinmoe-dake during 26-27 January 2011, 国際火山学地球内部化学協会 2013年学術総会, 2013年7月, 鹿児島県鹿児島市
  - ・ 吸湿性エアロゾル2成分系における雲形成に関する数値実験, 第30回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2013年8月, 京都府京都市
  - ・ 冬季山岳性降雪雲の微物理構造の再現実験, 非静力学モデルに関するワークショップ, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 数100kmにわたる火山灰長距離輸送に関するモデル開発と数値実験, 2013年度日本火山学会秋季大会, 2013年9月, 福島県猪苗代町
  - ・ 航空機・地上観測データに基づく雲物理モデルの改良, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ JMA-NHMを用いた火山灰輸送実験: 2011年1月26-27日新燃岳噴火, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 数100kmにわたる火山灰長距離輸送に関するモデル開発と数値実験, 地震研共同利用研究集会「火山現象のダイナミクス・素過程研究」, 2013年12月, 東京都文京区
  - ・ 多次元ビン法NHMの開発, 第4回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2014年3月7日, 兵庫県神戸市.
- 花房瑞樹
- ・ 十勝地方広尾町で発生する強風の将来変化について, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 地域気候モデルによる甲府盆地の降水特性の再現, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 林 修吾
- ・ Lightning Observation, Forecast, and Nowcast in JMA. International Symposium on Monitoring and Prediction of Earth's Environment by Using Electromagnetic Methods, Univ. Electro-Communication, 2013年5月, 東京
  - ・ The statistical features of radar echo for cell-tracked thunderstorm: case study for the typical summer thunderstorm in Japan, Davos Atmosphere and Cryosphere Assembly DACA-13, 2013年7月, スイス, ダボス
- 林 豊
- ・ 沿岸波高精度予測システムの開発, 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 沖合津波観測データ同化システム用津波波形データベースの作成, 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ Development of the System for High-Precision Prediction of Coastal Tsunami Wave Heights, 10th Annual Meeting of the Asia Oceania Geosciences Society (AOGS), 2013年6月, オーストラリア, ブリスベン
  - ・ Development of the Synthetic Tsunami Waveform Database for Tsunami Forecasting System Based on Offshore Tsunami Data Assimilation, 10th Annual Meeting of the Asia Oceania Geosciences Society (AOGS), 2013年6月, オーストラリア, ブリスベン
  - ・ Development of the Synthetic Tsunami Waveform Database for Tsunami Forecasting

System Based on Offshore Tsunami Data Assimilation, 26th International Tsunami Symposium (ITS2013), 2013年9月, トルコ, ギョジエク

- ・ 2011年東北地方太平洋沖地震の余震は津波の高さに影響を及ぼしたか?, 日本地震学会2013年度秋季大会, 2013年10月, 神奈川県横浜市
- 林元直樹
  - ・ 緊急地震速報処理のための東南海 OBS の設置方位推定, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 東南海海域の海底地震計を用いた陸上での震度予測可能性の検討, 日本地震学会2013年度秋季大会, 2013年10月, 神奈川県横浜市
  - ・ 海底地震計を用いた陸上での震度予測可能性の検討, 日本地震工学会年次大会 2013, 2013年11月, 東京都渋谷区
  - ・ 海底地震計のサイト特性の評価と陸上での震度予測可能性の検討, 2013年度京都大学防災研究所研究集会「リアルタイム地震動情報の高度化とその利活用」, 2013年11月, 京都府宇治市
- ・ Examination of the site amplification factor of OBS and their application to magnitude estimation and ground-motion prediction for EEW, 2013 AGU Fall Meeting, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ
- 平原幹俊
  - ・ 海洋モデルを用いた歴史実験における Weddell Polynya の再現, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ 回廊における傾圧不安定と南北熱輸送, 九州大学応用力学研究所共同利用研究「海洋大循環の力学」研究集会, 2013年11月, 大分県九重町
- 弘瀬冬樹
  - ・ 仮想的なプレート内地震による応力擾乱と1605年慶長津波地震との関係, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 房総半島沖で繰り返すスロースリップと  $b$  値の時間変化との関係 (その2), 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 房総半島沖で繰り返すスロースリップと地震活動の関係, 研究集会「地震活動の評価に基づく地震発生予測システムー東北地方太平洋沖地震前後の地震発生予測ー」, 2013年7月, 東京都文京区
  - ・ 房総半島沖のプレート間すべりによる応力変化と地震活動の関係, 日本地震学会2013年度秋季大会, 2013年10月, 神奈川県横浜市
- 藤井陽介
  - ・ Insight on Steric Height (and Heat Content) behavior in MRI-JMA products, 海洋再解析の相互比較に関するワークショップ, 2013年7月, イギリス, レディング市
  - ・ 海洋大循環モデルで再現される水塊の追跡へのアジョイントコードの利用, 第17回データ同化夏の学校, 2013年8月, 青森県むつ市
  - ・ フォワード・アジョイントコードの組み合わせによる水塊追跡法, 日本流体力学会年會 2013, 2013年9月, 東京都小金井市
  - ・ エルニーニョと同化研究, 2013年度日本海洋学会秋季大会シンポジウム「海洋モデルリング研究の今後を展望する」, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ Role of air-sea interaction in a coupled model simulation Constrained by Ocean Data Assimilation, RIMS International Conference on Theoretical Aspects of Variability and Predictability in Weather and Climate Systems, 2013年10月, 京都府京都市
  - ・ Activities of Observation System Evaluation and Design in JMA/MRI. GODAE Ocean View Symposium 2013, 2013年11月, アメリカ, メリーランド州バルチモア.
  - ・ Studies using eddy-resolving western North Pacific Ocean model and its adjoint model in JMA/MRI. Fall seminar series in University of California, Irvine. 2013年11月, アメリカ, カリフォルニア州アーバイン. (招待講演)
  - ・ Evaluation of the Tropical Pacific Observing System from the Ocean Data Assimilation Perspective, International Workshop "A future Sustained Tropical Pacific Ocean Observing System for Research and Forecasting", 2014年1月, アメリカ, カルフォルニア州ラホヤ
  - ・ 変分法データ同化と正定値対称行列, 文部科学省数学協働プログラムワークショップ「正定対称行列をめぐるモデリング・数理・アルゴリズムの世界」, 2014年1月, 東京都港区.

- 藤部文昭
- 日本における降水量の極値パラメーターの分布特性, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - Long-term changes of extreme precipitation in Japan and their relation to multidecadal temperature variations, IGU Kyoto Regional Conference, 2013 年 8 月, 京都市左京区
  - 降水の統計と長期変動—弱い降水を中心として—, 日本気象学会第 40 回メソ気象研究会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - 気象における統計とその問題点, 共同研究集会「極値理論の工学への応用」, 2013 年 12 月, 東京都立川市
  - 長期観測データから見る日本の気候変動の実態と問題点, 日本気象学会関西支部2013年度四国地区例会, 2013 年 12 月, 香川県高松市
  - 大雨の極値統計に関わる問題点, 文科省委託事業数学協働プログラム「地球流体現象の疎構造」, 2014 年 3 月, 京都市左京区
- 保坂征宏
- 気象研究所陸面モデルHALとその開発, 第4回極域科学シンポジウム, 2013 年 11 月, 東京都立川市
  - West Africa Monsoon in the MRI-AGCM3, 米国地球物理学連合(AGU)第 46 回秋季大会, 2013 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ
  - 気象研地球システムモデルでの積雪アルベド, 第4回 SIGMA ワークショップ in 十日町, 2014 年 3 月, 新潟県十日町
- 干場充之
- Real-time prediction of seismic ground motion (I) Real-time estimation of seismic wavefield using data assimilation technique and time evolutionary prediction using Kirchhoff integral, 2013 Meeting of the Americas, 2013 年 5 月, メキシコ, カンクン
  - Real-time prediction of seismic ground motion (II) real-time correction of frequency-dependent site amplification factors, 2013 Meeting of the Americas, 2013 年 5 月, メキシコ, カンクン
  - Earthquake Early Warning of the Japan Meteorological Agency, and its performance during the 2011 Tohoku Earthquake (Mw 9.0), Seminar at UNAM, 2013 年 5 月, メキシコ, メキシコシティ
  - 実時間地震動予測 —データ同化手法の適用による実況波動場の把握強化—, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - リアルタイムでの地震動波形予測, 緊急地震速報利用者協議会総会, 2013 年 7 月, 東京都千代田区
  - Real-time prediction of seismic ground motion (I) Real-time estimation of wavefield using data assimilation and time evolutionary prediction using Kirchhoff Integral, 2013 IASPEI Joint Assembly, 2013 年 7 月, スウェーデン, ヨーテボリ
  - Real-time prediction of seismic ground motion (II) Real-time correction of frequency-dependent site amplification factors, 2013 IASPEI Joint Assembly, 2013 年 7 月, スウェーデン, ヨーテボリ
  - Feedback about Earthquake Early Warning: Questionnaire survey after the 2011 Tohoku Earthquake (Mw9.0), 2013 IASPEI Joint Assembly, 2013 年 7 月, スウェーデン, ヨーテボリ
  - 実時間地震動予測, 東京大学地震研究所 共同利用研究集会「不均質構造における波動伝播の物理学の基礎と応用」, 2013 年 9 月, 東京都文京区
  - 地震動即時予測の次世代への考察 —東北地方太平洋沖地震の教訓から—, 日本地震学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 10 月, 神奈川県横浜市
  - 実時間地震動予測:データ同化による波動場の把握から即時予測へ, 日本地震工学会年次大会-2013, 2013 年 11 月, 東京都渋谷区
  - 実時間地震動予測:データ同化による波動場の把握から即時予測へ, 2013 年度京都大学防災研究所研究集会「リアルタイム地震動情報の高度化とその利活用」, 2013 年 11 月, 京都府宇治市
  - Real-time prediction of earthquake ground motion using real-time monitoring, and improvement strategy of JMA EEW based on the lessons from M9 Tohoku Earthquake, 2013 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, 2013 年 12 月,

- アメリカ, サンフランシスコ
- ・ Real-time prediction of earthquake ground motion: application of data assimilation and real-time correction of site amplification factors, 2013 American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, 2013年12月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 前田憲二
- ・ 地震活動解析に基づく地震発生確率予測の現状, 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
  - ・ 前震に基づく東北地方太平洋沖地震の発生確率, 研究集会「地震活動の評価に基づく地震発生予測システムー東北地方太平洋沖地震前後の地震発生予測ー」, 2013年7月, 東京都文京区
  - ・ 前震の経験則に基づく地震発生予測ー伊豆地域への適用ー, 日本地震学会2013年度秋季大会, 2013年10月, 神奈川県横浜市
- 眞木貴史
- ・ 気象庁二酸化炭素分布情報を用いた衛星観測データのバイアス調査(II), 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 逆解析を用いた福島第一原子力発電所からの<sup>137</sup>Cs放出量の推定, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Radionuclide deposition estimation from Fukushima Daiichi nuclear power plant by inverse model, AMS 94th Annual Meeting, 2014年2月, アメリカ, ジョージア州アトランタ
- 益子 渉
- ・ 2012年5月6日につくば市に被害をもたらしたスーパーセル竜巻の発生機構, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ Numerical Simulation of Supercell Tornadogenesis: The 2012 Tsukuba F3 Tornado Event, 第7回欧州シビアストームに関する会議, 2013年6月, フィンランド, ヘルシンキ
  - ・ Structure and Formation Mechanisms of Two Adjacent Shear Lines Accompanied by Wind Gusts in the Japan Sea Coastal Region during a Cold-Air, 第7回欧州シビアストームに関する会議, 2013年6月, フィンランド, ヘルシンキ
  - ・ Numerical Simulation of Supercell Tornadogenesis: The Tsukuba Tornado on 6 May 2012, 第15回メソスケールプロセスに関する会議, 2013年8月, アメリカ, ポートランド
  - ・ 超高解像度数値シミュレーションによる竜巻の詳細構造の解析, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ 超高解像度シミュレーションによる竜巻の詳細構造の解析, 第4回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2014年3月, 兵庫県神戸市
- 増田一彦
- ・ ボロノイ型粒子モデルを用いた氷晶雲特性の推定精度, 日本気象学会2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 衛星からの赤外観測による火山灰領域の検出, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 松枝秀和
- ・ Long-term change of the CO<sub>2</sub> latitudinal gradient in the upper troposphere, the 9th International Carbon Dioxide Conference, 2013年6月, 中国, 北京
  - ・ 産業革命前の大気中二酸化炭素の緯度分布, 2013年度日本地球化学会第60回年会, 2013年9月, 茨城県つくば市
- 三上正男
- ・ Evaluation of radioactivity resuspension by mineral dust particles from ground surface using a 1-D vertical model, JPGU Meeting 2013, 2013年5月, 千葉県千葉市
- 水田 亮
- ・ 温暖化実験における強い低気圧の変化, 爆弾低気圧をもたらす気象・海象災害の軽減に係るワークショップ, 2013年9月, 福岡県福岡市
  - ・ 中緯度低気圧発達における上下層別寄与の見積もりとその将来変化, 日本気象学会2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ Climate projections using MRI-AGCM3.2 with 20-km and 60-km grid. 2014 TCCIP international workshop on climate change, 2014年1月, 台湾, 花蓮市
  - ・ Ensemble climate projections using 20-km and 60-km AGCM. International workshop on climate system modeling –Climate 2014–, 2014年3月, アメリカ, ホノルル
- 武藤大介
- ・ 長周期地震動の継続時間の面的分布について, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 2013

- 年 5 月, 千葉県千葉市
- 村上正隆
- ・ 気候・地球環境研究におけるエアロゾル・雲・降水過程の役割, シンポジウム「変化する地球環境と気象学の役割」, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ CCN Ability of Atmospheric Aerosols and Microphysical Structures of Shallow Warm Clouds in Western Japan, 19th international Conference on Nucleation and Atmospheric Aerosols, 2013 年 6 月, アメリカ, フォートコリンズ
  - ・ Research activities related to simulations of contrail formation. IFAR/NASA Alternative Fuels Workshop, 2013 年 7 月, アメリカ, ワシントン D.C.
  - ・ Japanese Cloud Seeding Experiments for Precipitation Augmentation (JCSEPA), Workshop of Artificial Rain Enhancement, 台湾, 台北
  - ・ Could Physics research at MRI. Special Seminar of Department of Atmospheric Science, National Taiwan University, 台湾, 台北.
  - ・ 気象研究所における航空機観測—エアロゾルの間接効果からメソ対流系まで— スペシャルセッション「航空機による大気科学・気候システム研究」, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 気象研究所における航空機観測—エアロゾルの間接効果からメソ対流系まで—, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 村崎万代
- ・ 数値実験による日本域の降水における黒潮経路変動の影響, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 村田昭彦
- ・ 地域気候モデルによって再現された極端な地上気温に対する補正手法の開発, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Early-summer low temperature extremes in Japan projected by a nonhydrostatic regional climate model. Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 10th Annual Meeting, 2013 年 6 月, オーストラリア, ブリスベン
  - ・ 台風 0814 号の発生に対する対流バーストの役割, 平成 25 年度京都大学防災研究所共同研究集会「台風研究会」, 2013 年 9 月, 京都府宇治市
  - ・ Projection of early-summer low temperature in Japan simulated by a high-resolution regional climate model, IWD2013, 2013 年 10 月, 茨城県つくば市
  - ・ 雲解像地域気候モデルによる南西諸島の降水量の再現性, 日本気象学会, 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Evaluation of present climate in non-hydrostatic regional climate simulations for SOUSEI program, Taiwan Climate Change and Information Platform project (TCCIP) – International Workshop on Climate Change 2014, 2014 年 1 月, 台湾, 花蓮.
- 毛利英明
- ・ 乱流速度場の大スケール変動: 加算過程がもたらす対数正規性, 日本物理学会 2013 年秋季大会, 2013 年 9 月, 徳島県徳島市
  - ・ Length scale to determine the rate of energy dissipation in turbulence, European Turbulence Conference 14, 2013 年 9 月, フランス, リヨン
  - ・ 乱流間欠性の対数安定分布理論について, 研究会「大スケール流体運動と乱流揺らぎ」, 2014 年 1 月, 京都府京都市
- 安田珠幾
- ・ Decadal prediction of sea level in the western North Pacific, International workshop on seasonal to decadal prediction, 2013 年 5 月, フランス, トゥールーズ
  - ・ 北太平洋海面水位の将来変化予測, 2013 年度日本海洋学会秋季大会, 2013 年 9 月, 長崎県長崎市
  - ・ MRI-CGCM3 十年規模予測実験における北太平洋西部海面水位変化, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 日本沿岸水位の十年規模変動と長期変化傾向, 研究会「長期予報と大気大循環」, 2013 年 11 月, 東京都千代田区
  - ・ Decadal prediction of sea level in the western midlatitude North Pacific, Ocean Sciences Meeting2014, 2014 年 2 月, アメリカ, ホノルル
- 山内 洋
- ・ Vertical structure of the Tsukuba F3 tornado on 6 May 2012 as revealed by a polarimetric radar, 36th Conference on Radar Meteorology, 2013 年 9 月, アメリカ, ブレッケンリッジ

- ・ Vertical structure of the Tsukuba F3 tornado on 6 May 2012 as revealed by a solid-state polarimetric radar, International Symposium on Earth-Science Challenges (ISEC) 2013, 2013年10月, 京都府宇治市
- ・ Vertical structure of the Tsukuba F3 tornado on 6 May 2012 as revealed by a polarimetric radar, First International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities, 2013年12月, 茨城県つくば市
- ・ 竜巻注意情報の改善にむけて ～レーダー観測からのアプローチ～, 群馬県危機管理フェア・防災気象講演会, 2014年1月, 群馬県前橋市
- ・ 気象学的な特徴 2, 東京工芸大学・風共同研究拠点・公開研究会「関東地方に発生する竜巻等の突風, 被害と特徴と特徴」, 2014年1月, 東京都中野区
- ・ つくば竜巻に伴う渦の鉛直構造 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り, 課題1研究会, 2014年3月, 東京都武蔵野市
- ・ Vertical structure of the Tsukuba F3 tornado on 6 May 2012 as revealed by a polarimetric radar, 第9回ヤマセ研究会, 2014年3月, 岩手県盛岡市
- ・ 竜巻注意情報の改善にむけて ～レーダー観測からのアプローチ～, 第9回ヤマセ研究会, 2014年3月, 岩手県盛岡市
- ・ 気象学的な特徴 2, 第9回ヤマセ研究会, 2014年3月, 岩手県盛岡市
- ・ つくば竜巻に伴う渦の鉛直構造, 第9回ヤマセ研究会, 2014年3月, 岩手県盛岡市
- 山口宗彦
  - ・ Tropical cyclone predictability, ECMWF training course on predictability, diagnostics and extended-range forecasting, 2013年4月, イギリス, レディング
  - ・ Studies on tropical cyclone forecasting using TIGGE, 11th session of THORPEX GIFS-TIGGE working group meeting, 2013年6月, イギリス, エクセター
  - ・ Ensemble tropical cyclone activity prediction using TIGGE data, 8th Integrated Workshop/2nd Training and Research Coordination of Typhoon Committee, 2013年12月, 中国, マカオ
  - ・ Ensemble tropical cyclone activity prediction using TIGGE data, JMA/WMO workshop on effective tropical cyclone warning in Southeast Asia, 2014年3月, 東京都千代田区
- 山崎明
  - ・ 津波高の測定における高潮数値予測モデルの利用について, 日本地球惑星科学連合 2013年大会, 2013年5月, 千葉県千葉市
- 山崎明宏
  - ・ Comparison of single scattering albedo of aerosols obtained from observation data PREDE sky radiometer and CIMEL sun photometer, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
- 山田芳則
  - ・ 2012年9月4日に東京に出現した孤立型積乱雲の構造, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 北海道西岸帯状雲の形成に及ぼす利尻島と礼文島の効果に関する数値実験 — 2010年1月16-17日の事例 —, 日本気象学会 2013年度春季大会, 2013年5月, 東京都渋谷区
  - ・ 気象庁非静力学モデルのバルク微物理モデルの改良と開発, 第15回非静力学モデルに関するワークショップ, 2013年9月, 北海道札幌市
  - ・ ドップラーライダーデータとドップラーレーダーデータとを組み合わせる晴天時における大気下層の風の場を高い空間解像度で解析する試み, 日本気象学会 2013年度秋季大会, 2013年11月, 宮城県仙台市
  - ・ FTE-13-062/MES-13-018 雲微物理モデルの違いが気象庁メソ数値予報モデルによる予測日射量の精度に及ぼす影響評価 -予備的調査結果-, 新エネルギー・環境/メタボリズム社会, 他, 2013年11月, 東京都目黒区
  - ・ 数値予報モデルによる日射量や風の予測, 平成26年電気学会全国大会シンポジウム講演, 2014年3月, 愛媛県松山市
  - ・ 気象庁による発電予測に関する取り組み, 東京大学生産技術研究所エネルギー工学連携研究センターワークショップ「再生可能エネルギー発電導入のための気象データ活用」, 2014年3月, 東京都目黒区
- 山中吾郎
  - ・ 太平洋亜熱帯セルとそれに関連した海面水位の十年規模変動, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 2013年9月, 北海道札幌市

- ・ 海洋モデルの過去再現実験で見られた熱帯太平洋の十年規模変動, 研究会「長期予報と大気大循環」, 2013年11月, 東京都千代田区
- ・ Decadal variability of the subtropical cell and the sea surface height in the tropical Pacific revealed by a historical OGCM simulation, Ocean Sciences Meeting 2014, 2014年2月, アメリカ, ホノルル
- 山本 哲
  - ・ 世界気象機関 (WMO) 地上観測設置環境分類の導入, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 東京気象台 1875(明治 8)年観測開始期のメタ情報, 第 232 回生存圏シンポジウム, 2013 年 8 月, 東京都立川市
  - ・ 東京気象台 1875(明治 8)年観測開始期のメタ情報, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
- 山本哲也
  - ・ 伊豆大島の地殻変動上下成分から示唆される圧力源の形状, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ Pressure source inferred from long-term volcanic deformation observed by GPS in Izu-Oshima, 国際火山学地球内部化学協会 2013 年学術総会, 2013 年 7 月, 鹿児島県鹿児島市
  - ・ 伊豆大島多成分ひずみ計による初期観測データの特性, 2013 年度日本火山学会秋季大会, 2013 年 9 月, 福島県猪苗代町
- 弓本桂也
  - ・ 気象庁アンサンブル予報システムで得られたアンサンブルの特性, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ データ同化を用いたエアロゾルの不確実性低減への取り組み, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ Inverse Estimate of Long-Term CO Emission in China between 2005-2010 with Green's Function Method, The 6th International GEOS-Chem Meeting (IGC6), 2013 年 5 月, アメリカ, マサチューセッツ州ケンブリッジ
  - ・ Inverse modeling of long-term CO emission in China with Green's function method and forward sensitivity, International Workshop on Inventory, Modeling and Climate Impacts of Greenhouse Gas emissions (GHG's) and Aerosols in Asian Region, 2013 年 6 月, 茨城県つくば市
  - ・ Inverse Modeling of Asian Dust Emission with MODIS AOT and the SPRINTARS Adjoint Model, Goldschmidt 2013, 2013 年 8 月, イタリア, フィレンツェ
  - ・ 中国起源一酸化炭素排出量の長期間逆推定, 第 54 回大気環境学会年会, 2013 年 9 月, 新潟県新潟市
  - ・ 化学輸送モデルを用いた東アジア域の PM 濃度の経年変化の解析, 第 54 回大気環境学会年会, 2013 年 9 月, 新潟県新潟市
  - ・ Experiences from several data assimilation methods: ground-based lidar 4D-Var and MODIS AOD LETKF, International Cooperative for Aerosol Prediction (ICAP) 5th working group meeting, 2013 年 11 月, 茨城県つくば市
  - ・ 粒径分布を考慮した発生源逆推定, 風送ダストに関する現状と今後の展開に関する研究集会, 2014 年 1 月, 福岡県春日市
- 横田 祥
  - ・ Data Assimilation Experiments for the Tornado Outbreak near Tsukuba on May 6, 2012 with the Nested-LETKF System, 台風セミナー2013, 2013年10月, 京都府京都市
  - ・ 2012年5月6日につくば市に被害をもたらした竜巻の発生環境場の LETKF ネストシステムを用いた同化実験, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Data Assimilation of Doppler Wind Observed by MRI-Radar for the Tornado Outbreak near Tsukuba on May 6, 2012 with the Nested-LETKF System, 「局地豪雨予測のための先端的データ同化と雲解像アンサンブル手法に関する研究」平成 25 年度第 1 回研究集会, 2014 年 1 月, 静岡県沼津市
  - ・ Data Assimilation Experiments of Tsukuba Tornado on May 6, 2012 with the Nested-LETKF System, 第 4 回 超高精度メソスケール気象予測研究会, 2014 年 3 月, 兵庫県神戸市
- 横田 崇
  - ・ 火山災害対策へのリモートセンシング技術の活用, 次世代安心・安全 ICT フォーラム総会記念特別講演会, 2013 年 6 月, 東京都千代田区

- ・ 余震活動の新たな予測手法の検討, 日本地震学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 10 月, 神奈川県横浜市
- 吉田康平
  - ・ Future changes and uncertainties in the Tropical Tropopause Layer by multiphysics and multi-SST ensemble experiments with MRI-AGCM3.2, Sixth China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology, 2013 年 10 月, 中国, 南京
  - ・ マルチ対流スキーム・SST アンサンブル実験による熱帯対流圏界層の不確実性評価, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Upwelling in the tropical tropopause layer in CMIP5 models and MRI-AGCM, International Workshop on Climate System Modelling, 2014 年 3 月, アメリカ, ホノルル
- 吉田 智
  - ・ 雷放電に伴う Preliminary Breakdown の発生高度と積乱雲内電荷構造, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ フェイズドアレイレーダによって得られた対流性降水システムの構造, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討 その 4 2次元アレイアンテナによる偏波特性の検討, 日本気象学会 2013 年度秋季大会, 2013 年 11 月, 宮城県仙台市
  - ・ Preliminary breakdown pulses located by Broadband Observation network for Lightning and Thunderstorm, 2013 AGU Fall Meeting, 2013 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ
  - ・ 雷放電に伴う Preliminary breakdown と積乱雲内電荷構造の関係, 日本大気電気学会第 90 回研究発表会, 2014 年 1 月, 東京都小金井市
- 和田章義
  - ・ Numerical study on TC-induced oceanic carbon system changes, Japan Geoscience Union Meeting2013, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ Daily observations by profiling floats and numerical simulations on typhoons during 2011-2012 typhoon seasons, Japan Geoscience Union Meeting 2013, 2013 年 5 月, 千葉県千葉市
  - ・ 海洋データ同化による海洋解析場が台風シミュレーションに与える影響, 日本気象学会 2013 年度春季大会, 2013 年 5 月, 東京都渋谷区
  - ・ 台風通過に伴う海洋応答と台風への影響, 第 11 回環境研究シンポジウム, 2013 年 11 月, 東京都千代田区